



取付説明書

ワンセグアンテナ用フィルムエレメント

品 番： **CA-PFL26DTD**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびカーナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種：(2011年 4月現在)

CN-GP710VD/SP710VL

CN-GP510VD/SP510VL

※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

フィルムアンテナ(B)



数量：1

取付説明書(本書)



数量：1

※本書に記載の寸法は、おおよその数値です。

※本書でのイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

本書は、フィルムアンテナの貼り付け方法のみ記載しております。
地上デジタルテレビアンテナ用フィルムエレメントへの接続方法などにつきましては別売のCA-PDTNF26Dに付属の取付説明書をご覧ください。

仕 様

品 名：ワンセグアンテナ用フィルムエレメント

貼り付け場所：フロントウィンドウ(車内側)

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日
品 番	CA-PFL26DTD
販 売 店 名	☎ () -

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

お客様ご相談センター

- ・フリーダイヤル ☎ 0120-50-8729
受付 9:00～18:30/365日
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**

※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

- ・ F A X* 045-938-1573
受付 9:00～18:30(土・日・祝日・当社休日を除く)
※通話料は、お客様のご負担となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



警告



説明書に従って、取り付けをする

火災や事故の原因になります。
作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

フィルムアンテナは、取付許容範囲内に貼り付ける

保安基準に適合するように、指定に従って貼り付けてください。視界不良による交通事故の原因になります。



運転や視界を妨げる場所には、絶対に取り付けない

前方・後方の視界を妨げる場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



注意



取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

配線・取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

外れたり・落下しないようにしっかり取り付ける

取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中に外れて落下し、事故やけがの原因になります。ときどき接着や取り付けの状態を点検してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

天気の良い日中に取り付けてください

雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因になることがあります。



車載用以外には使用しない

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

ワンセグ地上デジタル放送を受信しにくい場所

- ビルとビルの間を走行または停車している
- トンネルや鉄橋を走行している場合
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過しているときなど
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く
- 送電線の付近を走行している場合
- ラジオ放送、アマチュア無線局の放送アンテナの近く
- 山かげや木立の影など樹木の密集した場所

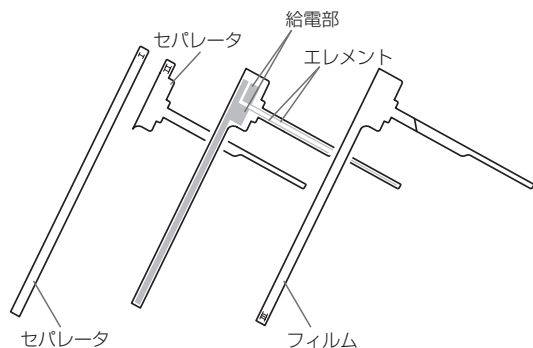
フィルムアンテナを貼り付ける前に

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
 - ピラーにフロントエアバックを搭載している車には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
 - 車検適合させるために、下記の「■貼付許容範囲について」および下記の「フィルムアンテナの取り付けかた」をよくお読みのうえ、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
 - 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所（リヤウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下します。
- アンテナのフィルムをはがしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。

フィルムアンテナについて

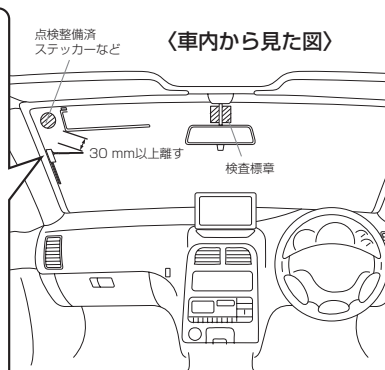
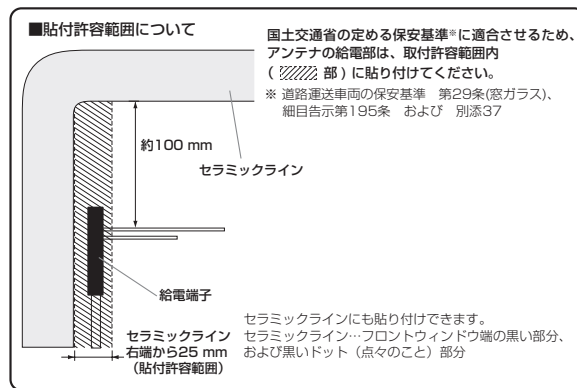
フィルムアンテナの構成



フィルムとセパレータの間にエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電部です。

貼付位置について

- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- フロントウィンドウ上側のセラミックライン下端より約100 mm 離れた位置に貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナからフィルムアンテナを30 mm以上（下図〈車内から見た図〉参照）離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントウィンドウに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。（指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。）

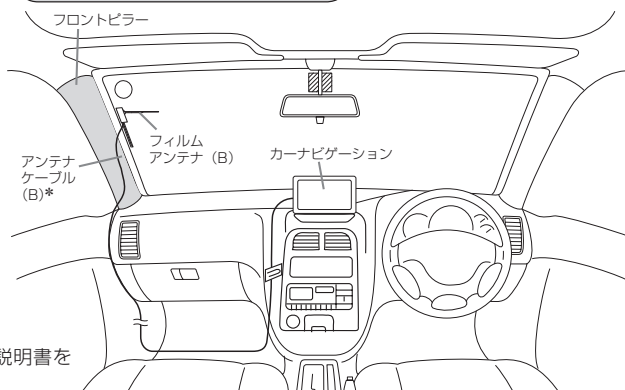


フィルムアンテナを貼り付ける前に

■取り扱い上の注意点

- アンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線などにより電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがしたあとは、貼り付け面に手をふれないでください。フィルムアンテナの透明シート、クランパーのはくり紙をはがしたあとは手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- アンテナのフィルムや給電端子のはくり紙をはがしたあとは、給電部などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- 貼り付けたあと、ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使用しないでください。破損の原因となります。

取り付け完成概略図 〈車内から見た図〉



* 印…別売のCA-PDTNF26Dに付属の説明書をご覧ください。

フィルムアンテナの取り付けかた

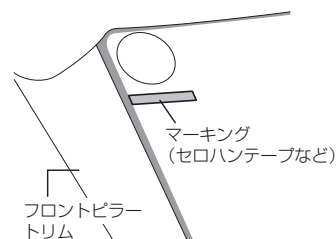
作業をする前に

- 作業中は車のキースイッチを「OFF」にしてください。
- 内容物がそろっているかご確認ください。(表面をご覧ください。)

1 貼付位置についてをよく読んで貼り付け位置を決める

(1) 位置決めのためのマーキング用テープを貼り付ける。

- フィルムアンテナの取り付け作業は、左側を表しています。(フィルムアンテナに③の記載あり)
- 位置決めのためのマーキング用テープは車外側のフロントウィンドウに貼り付けてください。



2 エlementを貼り付ける

エlement貼り付けについてご注意

- エlement貼り付け後3時間以内は貼り付けたエlementにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、エlementの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エlement上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布などを使用し、エlementに傷が付かないよう注意してください。

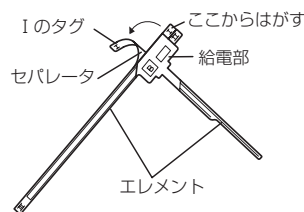
(1) フロントウィンドウの汚れ(ゴミ・油など)やくもり止めを拭き取る。

- 毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、きれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。
- ※ フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けしないでください。エlementがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。
- ※ 作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。



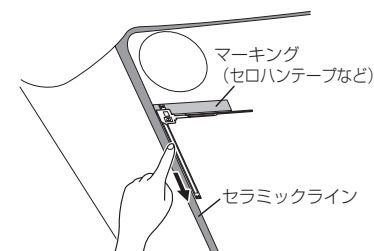
(2) Iのタグを持ってエlementからゆっくりとセパレータをはがす。

- セパレータを急にはがしたりエlementを強く曲げたりするとエlementが断線するおそれがあります。
- ※ セパレータをはがしたあとは、のり面(エlement色黒色の方側)に指紋やホコリなどがつかないように注意してください。エlementが貼り付かなくなります。



- 車内から文字(③)が読めることを確認してからマーキングに合わせて貼り付けてください。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

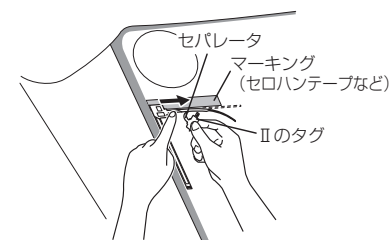
一度エlementがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。



(3) IIのタグを持ってフィルムからゆっくりとセパレータをはがしながら横方向のエlementを貼り付ける。

お願い

IIのセパレータをはがす際に途中で止めると、エlement部に白濁が残ります。スムーズに加圧しながら貼り付けてください。



(4) 全面貼り付け後、エlement上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りにやすいので念入りに加圧してください。
- ※ 加圧が不足するとフィルムをはがす際にエlementがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエlementを中心にしてください。
- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼付部に気泡が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。
- マーキングをはがしてください。

(5) IIIのタグを持ってフィルムをゆっくりとはがす。

- エlementがフロントウィンドウに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- ※ IIIのタグ以外のところよりはがさないでください。また、勢いよくはがさないでください。エlementが断線する原因になります。
- IIIのタグからゆっくりとはがしてもフィルムと共にエlementがはがれる(フロントウィンドウに転写されていない)場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エlementを強くこすり直してください。
- ※ フィルムをはがした後はエlementの給電部にふれないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下するおそれがあります。
- 貼付完了後には柔らかい布などで上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エlement部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

